

平成21年度実施 地域ICT利活用モデル構築事業 成果報告書

実施団体名 上越市

事業名称 ICT技術を活用した地域型食育推進モデル

1. 事業実施概要

市民に対して一方的な情報発信だけではなく、ブログの双方向機能を活用し、地域における食の「集合知」を蓄積していく。このことにより更に食に対する知識を深めるとともに、市民が積極的に参加する仕組みと体制を整備することで、健全な食習慣の促進及び地域の活性化を目指していきたい。具体的には、利用者同士のコミュニケーション機能、各種体験事業の情報を集約し、事業主催者と参加希望者を繋ぐ予約機能の追加、携帯電話でのレシピ閲覧機能追加、利用者、管理者の機能性、使用性、保守性を強化する機能拡張、サイト利用者を対象としたアンケートの実施を行った。また、今年度の健康診断結果を分析したうえで、食事アドバイス機能を活用した食事アドバイスについても実施していきたい。

2. 目標の進捗状況

指標	目標値	結果の数値	達成状況	計測方法・出展等
○食育に関心を持っている市民の割合	80% (85%)	76.1% (92.3%)	△ (○)	無作為 3,000 人アンケート調査 (ポータルサイト利用者)
○食生活上の指針を参考に食生活を送っている市民の割合	50% (55%)	66.4% (73.1%)	○ (○)	無作為 3,000 人アンケート調査 (ポータルサイト利用者)

3. 達成状況が△又は×の場合はその理由

無作為による 3,000 人アンケート調査において、「食育に関心を持っている市民の割合」が目標値を達成しなかった主な理由として、アンケート回収率の低下(39.7% : 前年比△2.8%)が挙げられることから、今後はポータルサイトを最大限活用しながら、市民が食育に関心を持ってもらえるよう、事業を進めていきたい。

<委託業務説明書>

1 平成21年度事業実施において明らかとなった課題

情報発信者の負担とならないよう、発信者が既存でもっているホームページとの連携が必要となるが、発信されている情報がすべて食育に関する情報だけでないため、食育に関する情報のみを収集し、ポータルサイトに集める仕組みを検討することが必要である。

2 自律的・継続的運営の見込み

平成20年度末に市民や関係団体が連携して食育活動を推進できるよう設立された「上越の食を育む会（上越食育推進協議会）」が主体となり、情報の管理・発信等をしていくことになる。

また、食育ポータルサイトのランニングコストについては、機器のリース及び保守費については市で負担し、その他の経費については「上越の食を育む会（上越食育推進協議会）」へ加入する者からの負担金、あるいは食育に関するイベント等での収入の一部を運営費に充てる仕組みを作る。今後、自律した運営ができるようにするため、会員数の増加と、協賛企業によるバナー広告等を募集するなど独自の財源を確保する。

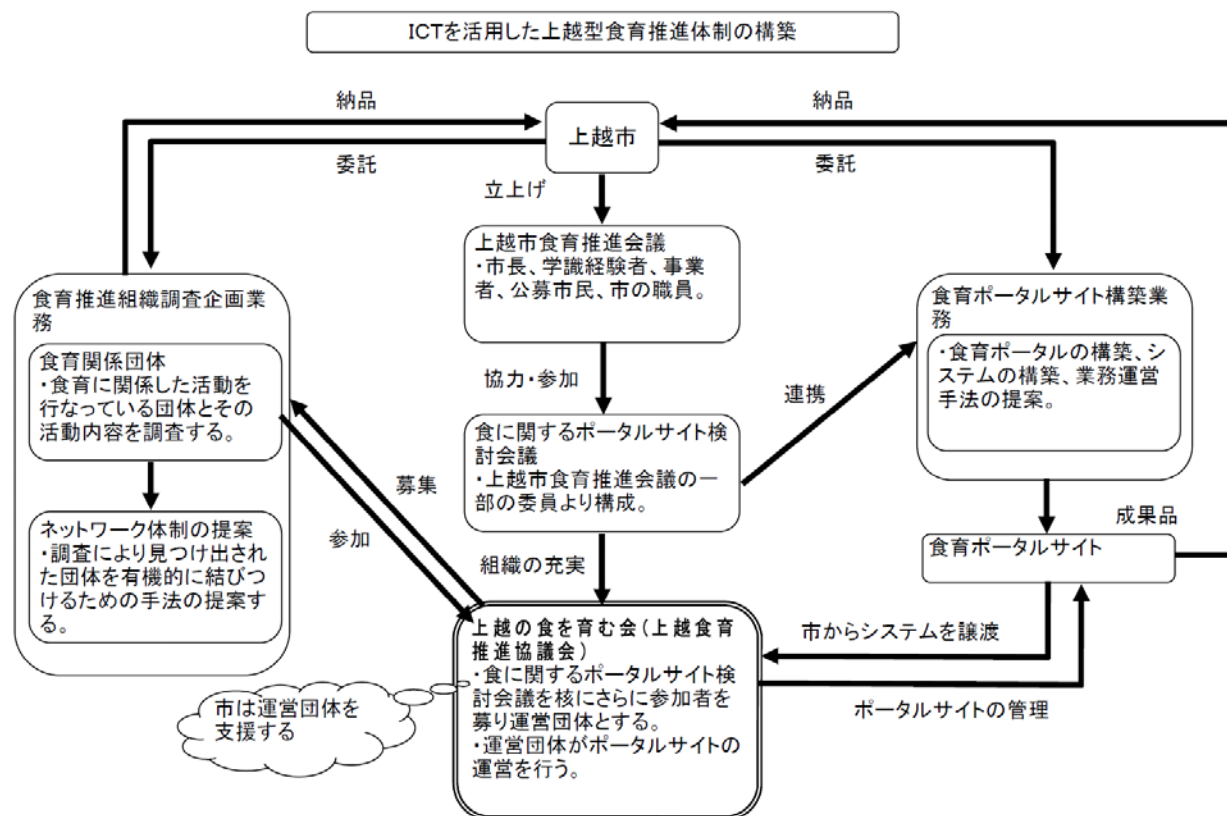
いずれにしても、より多くの市民が関心を持って食育ポータルサイトに訪れてもらうためには、その魅力あるコンテンツの充実を図ることをモットーとし、市民、上越の食を育む会（上越食育推進協議会）及び関係各機関の意見、提案を基にその効果や必要性を定期的に検討し、機能の追加や廃止を行う体制整備に努め、自律的・継続的運営を図っていく。

3 今後の展開方針

今年度新たに整備を行った「食育体験支援システム」や「市民への健康アドバイス機能の追加」を十分に活用し、更に利活用の幅が広い食育ポータルサイトの構築に努めるとともに、現在のコンテンツだけではなく、Web アンケートの結果等を活用して不足しているコンテンツの充実を図り、利用頻度の低いコンテンツの整理についても継続的に実施していく。

<実施体制説明書>

1 実施体制



2 2 各主体の役割

No	名 称	役 割
1	上越市	・市民や関係団体が連携して食育活動を推進できるよう、関係者間のネットワークを構築する。 ・情報の収集・発信環境の整備を行う。 ・食育に関する指導者を養成する。
2	上越市食育推進会議 上越市長（会長） 学識経験者 9 名 公募市民 6 名 事業者 5 名 市職員 4 名	・上越市食育推進計画の作成 ・市の食育の推進に関する重要事項についての審議
3	食に関するポータルサイト検討会議 学識経験者 8 名 事業者 2 名 市職員 7 名 ※上記 2 の上越市食育推進会議委員及び食育推進団体からの推薦	・上越市食育推進計画に掲げる目標を達成するために有効な、食に関するポータルサイトの構築および必要なシステム、またその継続的な運用等についての検討

4	上越の食を育む会（上越食育推進協議会） 上越市、県、国、民間団体、市民食育を推進し、自ら情報発信を行う組織	・上越の食育ポータルサイトへの情報発信及び管理・運営を行う。
---	--	--------------------------------

事業実施進行表

実施内容	H21 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H22 1月	2月	3月
協議会等開催					△			△			△	
システム構成の 検討・決定	→	→	→	→	→							
システム構築に 係る競争入札					→	→						
システム設計						→	→	→	→	→		
システム稼働											→	→
報告書作成												→

その他

本事業により構築したウェブサイト又は本事業を掲載したウェブサイト

PC版 <http://portal.e-shokunet.jp/>

携帯版 <http://blog.e-shokunet.jp/m/>

平成22年3月31日

平成21年度実施 地域ICT利活用モデル構築事業 システム設計書

実施団体名：上越市

事業名称：ICT技術を活用した地域型食育推進モデル

ICT技術を活用した食育推進及び地域コミュニティ活性化事業

1 概要

○食育ポータルサイトシステム

平成19,20年度で整備を行った食育ポータルサイトの利用頻度を高めるため、携帯電話での閲覧機能の充実、食育体験事業の集約と体験提供者と体験参加者をつなぐ予約機能の追加等利用者の利便性を高めるとともに、情報発信者同士がより多く連携できるためにコミュニケーション機能の追加等を行った。また、ポータルサイトの効果及び市民が求める情報を把握するため、Webアンケートを実施した。

2 運用結果

運用を行った結果、サイト利用者の食育に対する関心度及び実施度は高い数値を示しており、ポータルサイトの効果は確実にあるものと思われる。今年度改修を行った機能を活用し、さらに利用者の食育に関する意識を高めるとともに、情報発信者同士のコミュニケーションを高め、効果的な食育活動を行うことで食育活動に取り組む市民の数を増加させたい。

3 課題・改修の必要性

Web アンケート結果より、市民が欲しがっている情報をポータルサイトで発信しているにもかかわらず、ポータルサイトの存在を知らないため、ポータルサイトを利用していない人が多くいることが分かった。そのため、ポータルサイトのPRをさらに行い、ポータルサイトの存在をより多くの市民から知ってもらい、利用していただくようにする必要がある。

また、Web アンケート結果より、市民が欲しがっている情報で不足しているものについては、今後積極的に情報発信していきたい。

4 その他

上越の食を育む会（上越食育推進協議会）でポータルサイトの運用が継続的に行えるようにするため、情報発信者のサポートを行える体制を整備し、会からの情報発信が積極的に行えるようにしたい。